



中東時事アップデート

マイク・ゴレイ牧師とバリー・スタグナー牧師

- 「併合」・IOC・イランとの対立・地球規模の不法-

【マイク牧師】 今日は、非常にエキサイティングな話題が並んでいて、感情を刺激されます。投げかける情報がたくさんあるんですよ、皆さん。私の調査員、彼の名前はスティーブン、テキサス出身ですが、それと、先週見てきた他の多くのニュースソースを、張り切って、必死で皆の能力を結集して調べあげたものを、これから、ここでご覧いただきます。バリー牧師も多くの調査を行い、私たちの情報源、私たちが作成したデータに、とても満足しています。バリー牧師、まずは、今日のアップデートのためにお祈りをお願いします。

【バリー牧師】 了解しました。

お父様、あなたを知ること感謝します。あなたが私たちを知ってくださり、名前でご呼んでくださることに感謝しています。そして、主よ。あなたは、私たちの日数を知ってくださいます。あなたは、人類の物語を全て知っておられ、私たちの理解の軸となる情報を与えてくださいました。主よ、私たちが生きてこの時代に、私たちが耐え、遭遇するにあたって、極めて重要です。今日、語られることが、まず第一にあなたを称え、あなたに栄光が与えられますように。主よ、何千年も前にあなたが預言者たちを通して語り、書かれた預言が目の前で展開されるのを見ている人たちにも役立つようにお祈りします。ですから、今日、あなたが私たちを召され、あなたの御霊が、あなたの教会に語られることに聞く耳を与えてくださるようお願いいたします。イエスの御名によって、お祈りをささげます。アーメン。

【マイク牧師】 アーメン、アーメン。まず最初に言いたいことがあります。イタリアのサンレモ会議から100年が経っていることをご存知ですか？第一次世界大戦でイギリスが征服した、オスマン・トルコ帝国の残りをどうするか決めた会議です。さて、それについての詳細を少しだけご紹介します。こんにちの、私たちの「文化」と言いましょうか、人々は、イスラエルを「占領者」「違法な戦争行為」と呼んで非難しています。サンレモ条約の人々が、頭を掻いて「これは何だ？」と言うようなことで、イスラエルを告発しています。皆さんに思い出していただきたいのは、サンレモは、ユダヤ人だけに土地を割り当てたのではなく、彼らは、中東全体のすべての領土を割り当てました。現在、私たちが知る、ヨルダン、シリア、すべての地域の大部分を。だから地図で見ると、直線の地理的境界線のようなものがあるのです。ジグソーパズルのようなもので、ヨーロッパの国境が川などを基準にしているのとは違います。しかし面白いことに、サンレモ会議の出席者の中に、イギリスのロイド・ジョージ首相という人がいて、1920年以來、これは重要な時期で、彼はバルフォア宣言の支持を押し進めました。それは、ユダヤ人が古代の祖国に戻る権利を宣言したものです。皆さん、時間が経つにつれて、これは争われなくなりました。私たちがこんにち知っているように、西岸とガザ地区を含むイスラエルの土地全体は、時計を少し進めて、1945年、国連憲章の第80条で、現代のイスラエルの領土は、ユダヤ人の主権であることを再び断言したのです。そして、現在、我々が置かれている状況は、私たちが「併合」と呼ぶものを、人々は「不法占拠」として、イスラエルへの非難を叫んでいます。そこで、今から、それを画面に出して、この「併合」と呼ばれるものと、国際刑事裁判所との論争の全貌に触れたいと思います。これは、他の戦争や、歴史で見ると「併合」とは違うのです。トルコ人が、自国の領土ではなかったキプロスを、侵略したようなものではありません。これは、ロシアがクリミアを侵略するのとは違うんです。これは、1800年代のドイツとデンマークとのような戦争とも違います。デンマークが負けて、ドイツが勝ち、北ドイツは北ドイツ、そういうものです。バリー牧師この「併合」という言葉を見て、それから、歴史的な状況を考えるとユダヤ人は、これを求めてもおらず、世界が「ここがあなたの土地だ」と言っているのです。本当に、ここで何かを併合しているのでしょうか？それとも、何か別の目的があるのでしょうか？それについて、少しだけ聞かせていただけますか？

【バリー牧師】 さて、マイク、興味深いのは、もし最後で、本物の法的な国際文書を考えるならば、唯一、イスラエルの人々に土地を割り当てたのは、1920年4月25日に署名された、サンレモ決議です。おっしゃるように、領土

の多くが、イスラエルから取り戻されたにもかかわらず、それは、こんにちも有効です。「併合」は、「占領」という言葉によく似ています。現代に見合う言葉に作り替えられただけで、基本的には、領土を奪って特定の国の主権に持ち込むという、政治的な性質を持っています。しかし、マイク、私たちが特にクリスチャンとして覚えておくべき最も重要なことは、神が、創世記15章で、非常に明確に示されています。神が、アブラハム、イサク、ヤコブの子孫に与えた土地の境界について、北の大河ユーフラテス川を含む、非常に重要な地理的な印を置かれています。(創世記15:18参照) また、エジプトの川についても言及されました。今は、その川の意味を議論する人がいますが、しかし、私の頭の中では、エジプトの川といえばナイル川を指します。ですから、神は、その土地を示すのに、明確な地理的目印を与えておられ、それは、アブラハム、イサク、ヤコブの子孫、明らかにユダヤ人に、永遠の契約によって与えられました。だから、国際社会が叫んでいることや、イスラエルが政治的にやろうとしていることを超えて、ヨルダン川西岸、より適切にはユダとサマリアを併合することは、神が定められたこと、神が彼らに与えたことをただ、認識するだけだと悟る必要があると思います。そして、特にクリスチャンとして、イスラエルの領土占領やそのような性質のものに反対して叫ぶことについて、注意が必要だと思います。なぜなら、私の心はいつも、エゼキエル36章20節を思い出すからです。ここでは、神が、ある事実について語っておられます。神は、ユダヤ人を世界の国々の間に2000年もの間、散らされましたが、神は言われました。

「彼らは、その行く先の国々に行っても、わたしの聖なる名を汚した。人々は彼らについて、『この人々は主の民であるのに、主の国から出されたのだ』と言ったのだ。」(エゼキエル書36:20参照)

だから、これは、本当に併合ではありません。これは、神がアブラハム、イサク、ヤコブを通して、ユダヤ人に与えた神の境界線の、少なくとも拡大の認識です。そして繰り返しますが、マイク、「永遠」は「永遠の」という意味です。神は創世記15章で、彼らにその土地を与えました。創世記17章によると、神が、人々と土地との間に永遠の契約を結ばれ、イスラエルは、国際社会からの承諾なしに、現在呼ばれているヨルダン川西岸地区、より正確には、ユダとサマリア、ヨルダン渓谷の主権を宣言する全権利を持っています。しかし、ここでは、あなたが言及したように、明らかにアラブ諸国だけでなく、国連や他の国々が怒りを表し、イスラエルが、正当に自分たちが権利を有するものを占領する働きに、抗議しています。

[マイク牧師] はい、私は、これは主である神のご介入だと思います。80条と、国際連盟から国連に移った経緯を考えると、国連は、自身に手錠をかけました。彼らは、ユダヤ人が、その領土の主権を持っていると書いてある条項を、全部消してしまったでしょう。もちろん、彼らがそれを後悔し、それを消し去ろうとしているのも分かります。最近では、誰もが歴史を消そうとしています。しかし皆さん、ご存じないかもしれませんが、これは、実際にイスラエルが主権を拡大したいと考えている地域です。彼らは、すでに所有しています。これは、どこか馬鹿げた話で、もしバリー、あなたが私の家を買って、そして「あなたがそこに住んで、好きなようにしていいよ」と言ってくれたら？家は、そのままの状態が残ります。家を所有しているのは、あなたです。もし、私が家の所有者のように振る舞ったら、私は裁判で負け、私は結局、法律上の問題を抱えることになります。あなたは良い家で、私も良い入居者だとしましょう。良い入居者だったら、あなたを尊重し、あまり変化はなく、住宅ローンの支払いと、家賃の支払いの違いだけでしょう。でも、もし、あなたが私の家を所有しているなら、それは、あなたのものです。そして、私はそれを気に入るか気に入らないかのどちらかで、気に入らなければ出て行って、別の場所を探すかどうかです。人類の歴史の中で、戦争をして国境を広げたり、領土を失ったりした国は、たくさんあります。でも、ここは面白いことに、ユダヤ人は、この土地を与えられ、彼らは、ずっと、この土地の優秀な管理人でした。パレスチナの国家は、存在していません。しかし、私たちは実際、娯楽に興じます。「ここに別の地図を上げてみよう。」私たちは、まるで、実際にパレスチナ国家があったかのように娯楽に興じます。この地図を思い出してください、皆さん。これは、1993年のオスロ協定で特定されたA、B、Cのエリアです。エリアAは、厳密には、パレスチナ人の支配地域です。エリアBは、ここでは青色ではなく、オレンジ色の中にある茶色のエリアで、これがエリアAとBです。Bエリ



アは、イスラエル人と共用です。そして、青のエリアは、イスラエルの主権者の権利であるということで、全員が合意しています。では、先ほどのものと比較してみましょう。この地図と比較すればわかりますが、全て、イスラエルがやっていることは、自分たちの土地の全領域をアップグレードしているだけです。彼らが所有しているのです。バリー、もしあなたが私の家を所有しているなら、アップグレードする権利があるでしょう？

【バリー牧師】 その通り。

【マイク牧師】 裏にポーチをつけたり、芝生の上に木を植えたり。神は、私がおもって木が必要なのを知っています。あなたは好きなようにすればいいし、私にとっては、何も変わらなくてもいいんです。実際、私はそれを楽しみます。アップグレードを楽しみますよ。ということで、これを外してこの話題を少し拡大してみましょう。このいわゆる「併合」が、パレスチナ人とユダヤ人にとって何を意味するのか、少し話してください。そのことについて話しましょう。イスラエルが、その一帯を追従した場合、具体的には、どのように見えるのでしょうか？

【バリー牧師】 まあ、ある意味では大きな変化はないでしょうね。しかし、別の意味では、その領土の主権がイスラエルのものになります。マイク、あなたが言及したようにサンレモ会議でイスラエルに与えられ、そして、1948年5月14日の国家宣言以来、イスラエルが所有しているすべてのものは、その土地で、預言的な改善があったのです。エゼキエル30章と37章が、その事実が語っています。砂漠が再び花を咲かせ、繁栄するという、そして、大部分が不毛だった土地が、実を結ぶ土地になるのです。マイク、最近の歴史を見ても、ガザ地区の小さな地域がパレスチナ人に引き渡された時に起こった変遷^{へんせん}を見ることができます。そして物事は…それが行われた時、イスラエルの他の部分は、まるで…今、我々が目にしているのは、非常に貧しい地域、それと、もちろん、ガザ地区からの軍事行動は全て、イスラエルへの攻撃です。だから私が思うに、パレスチナの人々にとってのメリットは、技術などの、イスラエルが主権を握る、他の部分が享受しているもので、ですから、パレスチナの人々には多大な利益がもたらされることとなります。そしてマイク、面白いことに、世紀のディールと、その一部が最近明らかになり、大統領の地図が公開されましたが、ある地域に住んでいた人たちの一部は言っているのです。「ちょっと待って。私たちは、パレスチナ国家の一部になりたくない。私たちは、イスラエルの主権下で生活したい。そのお陰で、私たちの生活が、改善されたから。」マイク、重要なことの一つ、特に、イスラエルに行ったことがない人にとって、ナザレのような街に行くと、パレスチナ人が多く住む地域、アラブ人が多く住む地域を見ると、そこには、素晴らしい関係があります。あなたと私は、パレスチナ人が経営するレストランで食事をしたことがあります。彼らとイスラエル人、そして訪れる観光客との関係は、まさに素晴らしいものでした。アミールが、私たちがツアーで行ったときに、パレスチナのレストランにグループを連れて行って行ってくれましたが、彼には、素晴らしい仕事上の人間関係があります。これがモデルであり、それが、イスラエルの主権の利点だと思います。それ以外の他のすべてのものも付随します。そしてマイク、あなたが指摘していたように誰かが家を購入して、自分の意思決定やアップグレードをするという、非常に適切な例ですが、それは、アメリカのシアトルの6ブロック地域で行われていることに似ています。(笑) アメリカの電力、アメリカの水、アメリカの技術、アメリカの建設業者を利用して、今、占領している集団がいます。しかし、彼らは、その特定の土地の権限を実際に持っている人たちとは、何の関係も持ちたがりません。ですから、これはイスラエルの主権の範囲外だ。主権は、聖書的ではないだけでなく、現実的ではない。そして、パレスチナ人にとっても、メリットがない、と言うのは、なぜなら、(1) 西岸が、ガザのように成り下がるのを見たくない為です。そこは、テロリストが増殖し、基本的に、パレスチナ人に引き渡されてから、生活の質が大きく低下しました。だからマイク、イスラエルの主権領域に残る、もしくは正式にイスラエルの主権領域になることには大きな利点があります。



【マイク牧師】 その通りです。実際、私が最後に確認したときには、約6万5千人のいわゆる「パレスチナ人」が、その「併合地帯」に住んでいて、ユダヤ人は約1万1千人です。その当時、IDFは各都市ではなく、実際の国境を守っているだけで、IDFにとっては、はるかに仕事が少なかったのです。それが、開発やインフラに、多くの税金が注ぎ込まれ、彼らは、今よりも、ずっとしっかりとヨルダン国境をパトロールをすることが可能になります。そして、それら6万5千人のパレスチナ人全員に、何らかの形で居住許可が与えられ、彼らは、より多くの特権を得るのです。彼らは、より多くのお金を稼ぐでしょうし、より多くの機会が与えられます。東エルサレムのような感じでしょう。具体的に、どうなるか分かりませんが。私が住んでいた頃は、「カトム」と呼ばれ

るオレンジの居住許可証を持っていました。そして、私はいつもパレスチナ人と同じ身分だったので笑っていました。でも、他のビザでは得られないような権利があったので、ありがたかったですよ。だから、それは考慮すべきことです。皆さん、この背後にある政治は、イスラエル人が、自分たちのものではない領土に不法侵入しているように見せています。しかし、それは違います。ここは、ずっとイスラエルの領土でした。さらに、エリコ以外のその地域のほとんどは、ご覧のように、すでにイスラエルが管理しています。なので、あまり変化はありません。それでは、国際刑事裁判所の話をしましょう。バリー牧師。なぜなら、パレスチナ国家は存在しません。そして、この国際刑事裁判所が存在する理由は、説明責任を一切持たない、世界の司法権を求めているからです。世界の様々な地域で行われている部族間の戦争を想像してみてください。そこで人間の残虐行為が行われていても、それに対する取締りがないのです。そのために生まれたのが、これです。全ての国が、自己責任を持つとは限らないのです。戦争犯罪で何年もかけて、複数の兵士を起訴したアメリカ国防総省のように。イスラエル国防軍は、それをさらに次のレベルに持っていき、イスラエルで戦争犯罪をしたら、信用してください。追いかけて来て、お尻を叩かれますよ。罪のない民間人に発砲したら、刑務所行きです。実際、IDFは非常に恐れていて、アメリカの、現代の警察と非常によく似ています。彼らは、自分たちがジュネーブ条約に違反したら、国が彼らを投獄することを知っているから、自分の国が後ろ盾になってくれるかどうかを求めます。私は、この目で見してきました。その反対側には、倫理も道徳もない、パレスチナ自治区の人たちが、いっぱいいます。「子どもの後ろに立って撃とう。彼らが、私の盾になるのだ。」そして、それについて嘘をついて、演じます。国際刑事裁判所は、大勢の凶悪犯やテロ組織に動かされていて、呼ばれば、動いて、イスラエルを不法占拠として宣言、起訴しなければなりません。信じられますか？私たちが使うヘブライ語には「クツパ」という言葉があります。図太く、図々しく、厚かましい。そして皮肉なことに、皮肉なことに、バリー牧師！第二次世界大戦後、国際刑事裁判所の社会基盤を作ったのは、イスラエル人だったのです！ナチスや、実際の戦争犯罪を追求する為に。それが今は逆転して、事実、皆さん、実際のグループを言わせてください。実際に、この国際刑事裁判所で活動しているグループを名指しします。彼らが、イスラエルに対して行動を起こすようにしています。ちょっと探してみましょ。これらは非政府組織で、アル・ハーク、アル・ダミール、アル・メザンそして、パレスチナ人権センター、これはパレスチナの人権のみです。信じてください。他の誰でもありません。これらのグループはいずれも、ハマスやパレスチナ解放人民戦線などのテロ組織と非常に強い結びつきを維持しており、両方もが、ユダヤ人国家の、絶対的かつ完全な破壊を宣言・伝播し、説いています。これらのグループが国際刑事裁判所に手を伸ばして、そして国際刑事裁判所は、圧力に屈しています。バリー牧師いったいどうしたらこんなことに？世界中の説明責任のない地域を取締るために設立された国際刑事裁判所が、一体全体、どうすれば、このような凶悪犯を、実際、真剣に相手出来るのでしょうか。

[バリー牧師] そうですね、マイク、症状と原因の違いだと思います。つまり、原因が霊的なものであること、サタンが、反ユダヤ主義者であることを知っています。彼は長い間、イスラエルの人々を滅ぼそうとしています。ヘロデが2歳以下の男の子たちを皆殺しにした時、彼は、メシアを狙っていました。ファラオも同じことを試みました。それは、女から生まれる男の子が自分の頭を踏み砕く事を、サタンが知っているからです。彼は、キリストとなる子を殺そうとしましたが、失敗しました。そして今、彼は、イスラエルの民の後を追っています。これは、彼らを滅ぼすことを期待してのことなんですね。つまり、これは霊的な意味合いが強くて、因果関係は霊的なものです。ただ、その症状は、政治的に現れているかも知れません。マイク。私が思うに、これがとても奇妙なのは、パレスチナとイスラエル間のやり取りの中で、イスラエルは侵略者になっていないのに、国際社会が、ずっと泣き、グズっているのは、彼らが、イスラエルの反応が不釣り合いだと見ているからです。柵を越えて、ガザからイスラエルに入ってくるのを彼らが始めたのではないのに。そこから来るロケット砲の絶え間ない弾幕は、ガザからイスラエルに入ってくるロケット弾攻撃への報復ではありません。しかし、彼らが、これらの紛争を始めたのです。イスラエルは、高度な技術を持っていて、彼らは、ロケットや迫撃砲を、小学校や、病院の隣や住宅街に隠していません。むしろ彼らは、彼らの持っている機械化された兵器を使って、自分たちの滅亡と破壊を求める者たちに報復しているのです。マイク、私たちもイスラエルからの情報を認識していますが、子どもたちが、テディベアと偽のナイフを使ってイスラエル人の喉を切り裂き、ユダヤ人を絶滅させるように教えられていて、どの学校の教科書を見ても、イスラエルはなく、パレスチナしかない。ユダヤ人の居場所はありません。それなのに、これが霊的なものであるがゆえに、ICC（国際刑事裁判所）を含む国際社会は、単純にこれを見て、彼らの頭の中では不釣り合いな反応なのです。イスラエルは、自分たちが開発し、アメリカのような国から調達した技術で対応しているから。従って、彼らの見解では、石を投げられたのなら、イスラエルも石を投げ返すべきだ、と。境界線を越えてやって来て、何万エーカーものイスラエル人の農

地や森林を焼き払う風船焼夷弾や無人機に対して、イスラエルは、もっと優しく報復すべきだ。実際に、これらのものを作っている場所を奪おうとするのではなく、これは非論理的で、その核心は反ユダヤ主義であり、これは、政治的な問題ではなく、霊的な問題です。イスラエルを滅ぼし続けるのは、霊的な問題です。ゼカリヤも、12章のどこかで言っています。「地上のすべての国々が、エルサレムに向かって集まってくる」これは、ユダヤ人のことを言っています。だからマイク、これを見るのは珍しいことではありません。今回のICCの取り組みは、サタンが、イスラエルの破壊を求めて長い間行ってきたことの表れに過ぎません。その為、マイク。私たちクリスチャンにとっては特に、反ユダヤ主義を認識する事が、非常に重要なのです。どんな形や装いであれ、反ユダヤ主義は、非聖書的で、それは、聖書が教えていることではありません。教会が、終わりの日取るべき立場ではありません。神は、ユダヤ人との間に、永遠に続く契約を結ばれました。そして神は今日、ユダヤ人をこの地に連れ戻すことによって、その契約が有効であることを証明し続けています。そこで、私は、そこにいるクリスチャンに言います。もしあなたが、今のイスラエルは聖書のイスラエルではないという立場、その立場での教えを聞いているなら、私だったら、聖書を教えている別の場所を探します。それは単に正確でないだけでなく、真実ではありませんから。また、イスラエルに敵対する、国際社会に味方するべきではありません。彼らの見解では、パレスチナ人が権利を持つ領土をイスラエルが「占領」して、不釣り合いな報復をしていると見ていますから。私は、皆、パレスチナ人が何者であるかを正確に理解する必要があると思います。彼らは、別の人種ではありません。“パレスチナ”は、ユダヤ人への憎しみからその地域に名づけられたもので、“ペリシテ”のラテン語化された形です。それが、ユダヤ人への憎悪の為に、この地域に改名されたのです。ユダヤ人は、二人で歩くことを禁じられていました。何十万人もの犠牲者が出て、ローマ帝国は基本的に、ユダヤ人の終焉、滅亡を求めていました。歴史家によると、ペリシテ人は、エーゲ海の民族で、彼らは、元々はギリシャ人です。彼らは、アラブ人ではありません。パレスチナ人は、アラブ人で、彼らは、主にシリアやその他の中東の地域から来ています。そして、マイク。みんなが宿題さえすれば、リベラルな国際メディアに、簡単に騙されなくて済みます。

【マイク牧師】 ああ、ますます心配になってきました。私は51歳です。これまでの人生で、このような非論理的な方向への転換、非合理主義への転換、事実から、感情的なセンセーショナルリズムへの転換を見たことはありません。どういう意味かということ、つまり、私たちには歴史の事実があって、それを、人々が消そうとしています。中東では、何年も前からそれをしていて、今では、アメリカや他の国の内側で起こり始めています。何でも、人の社会構造に合わない筋書きはとにかく消してしまうのです。彼らは、ただ、それを再定義します。イスラエルが銃を下ろせば、彼らは制圧され、パレスチナ人が銃を下ろせば、すべての人に平和と繁栄が訪れる、という事実は変わりません。

【バリー牧師】 その通りです。

【マイク牧師】 あなたは、悪をよく知り、そして、このことをよく教えていますね。バリー牧師。あなたは、悪と反ユダヤ主義が働いていることをご存知ですね。自分たちを愛する以上に、イスラエルを憎んでいる人たちがいます。彼らは、自分たちを愛するよりも、実際に、イスラエルを憎んでいます。それは、人間の盾や、恐ろしい自国民の扱い方からも明らかです。だから、本当に何も…厳密に言えば、今まで言ってきたことを、まとめてみます。

厳密に言えば、本当に併合は、すでに所有しているエリアを、再定義しているだけです。私の家のデッキに小さな日よけを建てようとバリーが決めたとして、それは本当に、私のものではありません。彼が、私の家を買ったとしましょう。それは彼の家です。これで説明がつく事を願います。

では、次の話題に移りましょう。これがある意味、スパイ映画のようで、ぜひとも、あなたと話してみたい内容なのです。ごく最近、イランとの対立がありました。隠れてであれ、公然であれ。この話題を、こんな風に言って紹介してみましょう。金曜日に、テヘランの南東で爆発がありました。最近の爆発です。これは工場で、ここは、彼らが核を開発し、そして、ずっと核条例を開発して来た施設で、私たちは、原子カプログラムの開発もしていたと信じています。皆さん、彼らはトンネルと、地下の深いところに地下研究所を持っています。なぜ、地下にモノを作るのでしょうか？それは、アメリカだろうが、NATOだろうが、イスラエルだろうが、何年も前から知っている事で、空から来る爆弾から身を守るためには、地下に建てなければなりません。そして皮肉なことに、この施設はこの金曜日に破壊されました。その前に、ビビ・ネタニヤフ首相が最近、イスラエル空軍パイロット学校を卒業したパイロットた

ちに言った言葉を引用します。これが、ビビ・ネタニヤフの言った言葉です。引用します。彼は、これをヘブライ語で言ったので、私たちはこれを翻訳しました。

「自由人の挑戦は、私たちの目の前にあり、私たちはそれに対して、休むことなく行動を起こしている。第一に、イランとその代理人が、シリアに軍事的に進出しようとしていることに対して、私たちは不断の行動をとっている。イラン軍は、シリアから撤退しなければならない！ 第二に、我々は、我々の敵の、シリアやレバノンにおける精密ミサイル開発の動きに対して、行動を起こしている。第三に、最も重要なことは、我々は、イランの兵器開発を許さない。イランは、爆弾の目的達成の為に、国際社会に嘘をつき続けてきたことを伝えておく。」

そして、彼は締めくくります。彼はずっと言って来た。そして彼らは真剣です。皆さん。言うまでもありませんが、先週の火曜日の夜、シリアにおけるイスラエルの空爆で、7人の戦闘員が死亡しています。これは、ディル・アルズールの東側とシリアのアル・スクナの中央部での事です。この男たちは、IAFがそこに行って、彼らを連れ出す前に武器を持って、地上に出ることさえできませんでした。イランの新兵器は破壊され、その日のうちに届けられました。殺された者のうち、少なくとも5人はイランの支援を受けた民兵でした。ここで、ちょっとしたお楽しみがあります。バリー牧師。テヘランの南東の地図をお見せしましょう。これは、何かが起こる前のことです。皆さん、地図をよく見てください。施設があって、そこには土地がたくさんあるのが分かりますね。金曜日の後の様子をお見せしましょう。ちなみにイランのムッラ（宗教的指導者）は、言っていました。「あー この施設が破壊されたのは偶然で誤り、人間の性だよ。誰かからの軍事攻撃ではない。」では、ご覧ください。金曜日の後です。違いが分かりますか？ご覧ください。元々のも置いてみましょう。ピフォー・アフターの写真です。さて、今度は、スパイ映画の話です。バリー牧師、これは事故だと思いますか？そうでない場合は、ここで何が起こったのか、いくつかの説を教えてください。



【バリー牧師】 興味深いですね。マイク、ご指摘の通り、イラン人が地下に潜ったのには、大きな理由があります。地上のものは、常に地表から吹き飛ば

されていたからです。

【マイク牧師】 笑ってごめんなさい。

【バリー牧師】 あなたがその写真を見せたのは、面白いですね。なぜなら、現代の戦争では、「焦土政策」という言葉があって、全てを一掃してしまいます。そしてこれは、間違いなく焦土と化した大地です。しかしマイク、様々な報道機関から、多数のレポートが、文字通り、世界中から出ています。これは、通常兵器ではなく、イラン人が報告しているような、近所の住宅街でのガス爆発ではないことは確かです。むしろこれは、ハッキングで、これはサイバー戦争でした。基本的には、諜報機関から報告されているのは、これは…もちろん、イスラエルが大部分において、いわば犯人で、システムをハッキングして、施設を自爆させたのです。驚くべき技術的な偉業だと思いますね。しかし、それは珍しいことではありません。これらのものが、ますます頻繁に表面化してきたときには特に、現在、この種の戦争が、頻繁に行われています。しかし、繰り返しますが、あなたが言ったように、イランから出てきたムッラや他の人たちは「非常に不幸な事故だ」と言っています。衛星写真の地表の傷跡があんなに大きいのにガス爆発で、誰も怪我をしていないと言うのは全くあり得ない事で、隠べいです。だからマイク、非常に驚くべきなのは、彼らが、これだけ技術的に前進し、彼らが核実験をしていた、この地下の研究開発エリアが、あれだけ浸透して、核能力に近づいていた点です。ですから、おそらくこれは空からではなく、サイバースペースからでしょう。そして、最終的には、まさに必要な結果となりました。まさに、スパイ映画のようですが、このようなことが起こり得るとは、かなり驚きです。マイク、イスラエルには神がおられます。そして、主は、人々をこの地に呼び戻し、様々な攻撃の間、彼らを守られてきました。ネタニヤフの言ったことは、本気でした。イランが核武装することを許さないと。そして、これは彼らにとって大きな後退であり、それを達成するための手段は驚くべきものです。

【マイク牧師】 本当にすごいですね。天賦^{てんぷ}の才です。実際、今年はStuxnetウイルスが誕生してから10年という節目の年でもあります。それがS-T-U-Xネットワークです。スタックスネット・ウイルスは、2010年にイランのコンピューターに植え付けられたウイルスで、イランにあった核施設の濃縮のための冷却装置を妨害するために使用されました。基本的にこのウイルスは、冷却は完璧だと報告し、そしてメルトダウンを起こし、彼らには原因が分からない。シマンテック、つまりノートンです。イラン人が契約していた、アンチウイルスでした。彼らは、このウイルスを解

析し、その中にヘブライ語のコードを見つけて、そこで彼らは言いました。「唯一、このようなウイルスを生み出せる国家は…」それで彼らが、イスラエル人に聞いた時、「お前らがやったのか？こんなことができる国家は、そんなにいない。」イスラエル人が、満面の笑みを浮かべる姿が目には浮かびます。「誰が、そんなことをするのか、あなたには決して分からない。」バリー牧師、これは天才的な戦術的心理戦の方法です。データスティックや、USBドライブを持っていて、2010年にコンピュータに接続する事が可能で、そして、遠心分離機がメルトダウンするのを見るのです。それから10年後の技術を想像してみてください。きっと彼らは、「誰がそんなことをしているのか分からない」と言った、あのイスラエル人に聞いてはいはずですよ。「テヘランの南東に、大きなブラックホールがありますよ？」「“事故”なら、自分で報告した方がいいんじゃないか？」という事で、この件は、さらにさかのぼります。つい最近、イラン人は、イスラエルの水を妨害して毒を盛ったと非難されています。そして、これに対するイスラエルの反応もいいですね。ネゲブの南にあるベエルシェバでは、浄水する前に、ただ魚を水に入れるのです。そして、この時点で、天然の水道水にあるはずのない何らかの異物が混入していれば、魚の動きがおかしくなるので、彼らはテスターでPhレベルやその他全てを検査します。だからイスラエル人は、バン！と、あっという間に問題を解決するんです。それを天然の魚で解決するとは、天才的で、完全に驚かされます。まさに、あなたが先ほど言ったことに戻りますが、彼らは、本当に神の民です。神が、彼らを選ばれました。彼らは、特別なことは何もしていません。あなたと私が信者であるのと同じように、私たちは、ただ選ばれただけ。神が驚くべきことをなさっているのです。ICCであろうと、イランであろうと、人々がどんなことをしようとも、神の言葉が残るのです。そこはイスラエルの土地です。トランプの協定は、ここまでしかできませんが、私たちは、神の協定がそれを適切な範囲に持っていくことを知っています。イランがいくらイスラエルを破壊しようとも。その脅威の為に、時にイスラエル人は非常に不安になります。そうすると、歴史を通してこのような状況の時、神が民を守って来られた驚くべき例があるのです。

バリー牧師、次に、視聴者の皆さんが心配している件に移りましょう。不法の増加です。バリー、私たちが見ている不法の台頭は、中東だけではなくありません。それと、ICCの不条理さ、イラン、ヒズボラのお小遣いで、レバノン国内で起こっている事。彼らは、ただ、それが起こるに任せて、レバノンには、CHOPがあります。暴力的で、武装したヒズボラと呼ばれるものが、何年も前から存在します。過去20年間で数千発、数万発のロケット弾がイスラエルに向けて発射されています。バリー、アメリカだけでなく、ヨーロッパやアジアでも抗議デモが起きていますね。ジョージ・フロイド殺害の前の週末、あなたは、テサロニケ第二2章を説教していましたね。その月曜の前の日曜日でした。そして、私は、その前の金曜日にビホールド・イスラエルで、それを教えました。あの日曜日、あなたが説教した後に、この「すでに働いている不法の秘密」があっという間に醜い顔を見せるなんて、思っていましたか？それが最初の質問です。第二に、この不法は、今後数ヶ月の間に、どこへ行くのでしょうか？先生は、これをどう読んでいますか？

【バリー牧師】 マイク、この件で興味深いことの一つは、あなたが言っていたように、この出来事が起こったスピードだだと思います。なぜなら、これは聖書的です。イエスは、産みの苦しみをういて説明されました。（マタイ24:8参照）パウロも、「婦人に産みの苦しみが臨むよう」と言っています。（テサロニケ第一5:3参照）その時まで、痛みの頻度や強度が陣痛中の女性のように増していきます。その間隔は、どんどん狭まって、最終的には、究極の大仕事、大患難です。そして最後には、キリストの地上での治世を出産します。ただ、私が、おそらく、何よりも多く説教の中で言及して来たのは、特にこれまで以上に時が近づいている点で、ヨハネの黙示録1章で、これらのことがいったん始まると、すぐに連続して起こることが語られています。そして、それは、ダニエル書の70週目の期間がいったん始まると、前例のない速さで物事が進むことを告げています。したがって、それに近づけば近づくほど、それら同じものの加速度が増すことが予測されます。そしてマイク、私は、この数年を見ていて思うのですが、この国と世界中で不法の指数関数的な進展を見るだけで、長い間基準とされてきたものが、この国では急激に変化しています。結婚の定義、命の尊さは確かに変わりました。国際社会や、中絶の権利や、他にも命に関わる権利を守る立場にある権力者たちの、辛辣な反応を見ても、それは上昇しているのを知っています。ここでは、今、プライドパレード（LGBTの権利パレード）が行われていて、そして、それは世界中で起こっています。今、アメリカでも、世界中でも、まだプライド月間にだったと思います。主が許しておられないこと、禁止していることは、社会のために良くないからです。それなのに、ここでは不法が蔓延まんえんしているだけでなく、次のレベルにまで上がっています。この地域の産みの苦しみは増しています。なぜなら、今、人々が国際的に、あらゆる種類の構造的な法執行システムの解散と予算削減を求めている、そして、基本的には、そこから人々が何でも自分が正しいと思う事を行うようになり、自己防衛を

したり、こんにち、私たちが目にしている、世界中で起こっているような事へと導きます。それからマイク、興味深い事に、ここアメリカでは、週末に話題になったことがあります。ミズーリ州セントルイスでは、アンティファとBLMの集団が、ゲート付きのコミュニティに侵入して、そして、彼らは、これらの非常に立派な家や家の所有者の住宅街を行進し始めました。そこへ夫婦が出てきて、奥さんはハンドガンを持っていて、主人は突撃型の武器（アサルトライフル）を持ち、境界線を突破して、彼らの敷地を侵略して来た連中から、自分たちの財産を守ろうとしたのです。マスコミは、誰に敵対してるでしょう？門を蹴落とした連中？いいえ、マスコミは、この夫婦が自分の身を守ろうとしていることに敵対しているのです。彼らは基本的に不法を保護し、促進しています。パウロが言ったように、不法はすでに働いていましたが、今は残業をしていて、この運動を通して、その前進を見ているのです。あなたが言ったように、世界的な反乱のきっかけとなったのは、ジョージ・フロイドの事件で、これは本当に恐ろしいことでしたし、誰も法執行官のそのような行為を容認してはいけません。でもこれは、まるで、ウイルスのようですよね。このコロナウイルスのように、それは、あらゆるタイプの構造的な法執行機関の解体を叫ぶ者に対して扉を開き、それは、本当に世界中に広がっています。でもマイク、これには別の部分があると思います。特に、こんにちのクリスチャンにとっては気がかりな事で、アンチノミー（二律背反主義者）と言われる教理があって「不法」という意味です。教会の中には、こんな事を言う者たちがいます。「聞いてください、私たちが、クリスチャンとして生きるべく、道徳規範はもうありません。私たちはただ、イエスが誰であるか、そしてその主張を認知すれば良い。それが全ての結末だ。」と。だから世は「法はない」と言い、多くの教会が「法はない」と言い、そのせいで、多くの人の愛が冷めています。

[マイク牧師] 想像してみてください、バリー牧師。たった今、教会が取り除かれたら、皆さん、ここで、はっきりと考えましょう。信者と教会は今、社会のあらゆるレベルに、社会のあらゆる政府に存在しています。ドイツ政府にも、アメリカ政府にも信者がいます。ロシア政府にも信者がいます。その人たちが取り除かれたら？どうでしょうか？医療分野では、歯科分野、医療分野、心理分野にも、たくさんの信者がいて、その人たちがいなくなる。教育分野では、教育界に信者がどれだけいるか考えてみてください。自然災害に対応している、人道的な組織の信者を考えてみてください。彼らを取り除かれて、いなくなります。いいですか？地域内、そして地域の指導者の全ての信者が取り除かれたら。クリスチャンの警察官、消防士、軍人が取り除かれたら。全員連れて行かれて、ボン！と消えていく。その影響力を想像してみてください。それだけでも、その引き止める力を想像してください。信者である警察官の良心を想像してみてください。不正を見て、それを押し返し、報告して、正義が行われるようにする。それを取り除いてみてください。取り除いてみてください。自然災害での対応や医療分野で、限界を超えて手を尽くす聖霊の導きは、もうありません。神を中心とした法案を推進する政府は、もういません。全員が連れて行かれます。彼らが全員いなくなれば、バリー牧師、携挙の後の世界はどうなるのでしょうか？世界がどうなっていくのか教えてください。

[バリー牧師] ヨハネの黙示録6章から19章まで、ただただ、めちゃくちゃです。明らかに、どんな種類のものであっても、イエスがおっしゃったことに戻って、教会の役目、信者の役目は、塩と光でいる事です。塩は保存のために使われます。ローマ帝国から来ている古い格言に「人は塩の価値がある」というのがあります。ここでは、肉を詰めたり保存したりするために、塩代が支払われることが多かったのです。塩には、浄化作用と保存作用があることが分かっています。それを失った時、特に教会の携挙によって世界的な規模で、基本的には、各人が道徳的にも法的にも欲望に従って、何でもすることになります。マイク、私たちは無政府主義、共産主義、専制政治が、実際に、それに立ち向かうと言う人たちにどのように見えるのかを、学んでいます。世界中で起きている、こういうことを見ていると、他の人たちが抗議している暴力に対して、自分たちの主張を通すために、暴力を使っています。教会の、清めと保存の影響力が取り除かれてしまえば、地球上の状況は、きれいではありません。私たちの知っている通り、神はその期間、世界に純粋な御怒りを注がれます。私たちの誰もが参加したいとは思わないし、生き残ることを望んでもいません。その引き止める力が取り除かれると本当に厳しくなると、イエスがおっしゃいましたから。イエスが戻って来られて、それを止めなければ、誰も生き残ることはできません。マイク、我々はその方向に向かって、どうやらペースが上がってきたようです。ここ最近だけで、大幅に。昨年でなく、ここ数ヶ月の間に。

[マイク牧師] そうそう、絶対にそうですね。私はこの掲示板のコメントをいくつか見っていますが、励ましの言葉や、イエスを信頼するようにとの呼びかけがたくさんあります。主のみことばと、主の真理に信頼するように、

と。今日のアップデートをそろそろ着地させたいと思います。そこで、私が強調したいのは、教会の、引き止める聖霊の働きに関する会話の中から、それと、教会が、いかにイエスが支配され、君臨しておられる場所であるか。教会は完璧ですか？絶対にそうではありません。私たちはまだ肉をまとっているのです、いろいろな意味で混乱しています。しかし今、イスラエルの病院ネットワークと長年一緒に活動しているミニストリーがあります。そして、これはこう呼ばれています。「シェベット・アキーム」そして、それは聖書の一節に書かれているところから来ています。

אֲשִׁירָה מַעַלְלוֹת, לְדוֹדֵי הַנְּהִמָּה-טוֹב, וּמֵה-נְעָיִם--שֶׁבֶת אֲחִי־גֹם-יְחִי.

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになって ともに生きることは。」
(詩篇133:1)

シェベット・アキーム。兄弟として一緒に座るとき。イスラエル、特にシェバ医療センターと連携しているミニストリーです。バリー牧師、彼らは心臓手術に資金を提供し、心臓に異常のあるイスラム教徒の子どもたちをイラク、ヨルダン、シリア、いわゆるイスラエルの敵国から移送しているのです。そして、彼らは心臓手術をして、子どもたちの命を救っています。敵の子どもたちの命を救うために心臓手術をしているのです。シェバ医療センターの功績を讃えます。ありがとうございます。イスラエルのシェバ医療センター。ICCとして、国連として、そして周囲の世界の国々は、心臓手術のために子どもたちをイスラエルに送っている。この、恐ろしい悪の国イスラエル、腐ったユダヤ人たち、恐ろしい占領者たち...恥を知れ！一つの例として、このキリスト教の組織と提携しているユダヤ人たちが、皮肉にも、心臓に欠陥がある敵の子どもたちの命を救っているのです。それは驚くべきことであり、励ましであり、同時に挑戦だと思えます。知っていますか、バリー牧師、中東ではムッラーたちが、子どもがイスラエルで心臓手術を受けたと知ったら、それを非難し、彼らは家族を脅すのです。かと言って、彼らにそのためのインフラや技術があるわけでもないのに。この人たちが、自分たちの子どもをイスラエルに送っているのか、他に理由があるのですか？そのリスクを想像できますか？バリー牧師、あなたにはお子さんやお孫さんがいて、中東の状況を考えると、あなたは、何度も行っているのに、知っていますね？あなたの子どもを送って、彼らと一緒にイスラエルに行った場合、あなたはこのフォーラムで私たちの残りの部分と比較して、何を危険にさらしますか？教えてください、そのような手術を受ける前に考えなければならないことは、何かありますか？

[バリー牧師] マイクまず最初に、あなたが話していた時、私は考えずにはいられなかったのですが、このミニストリーの機能を説明していた時に、ユダヤ人の王がおっしゃいました。

「自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」 (マタイ5:44)

そして、これはまさにその通りです。これは、他人への愛と気遣いの表現です。自分たちを、イスラエルの敵だと思っているような家庭で育てられた人間であっても。しかし、マイク、私たちのイスラエル旅行での興味深い経験の一つに、グループの一人の歯が折れてしまったことがありました。もちろん、神経が露出すると、とても、とても痛いですよ。そして、イスラエルの歯医者が夜中に起きて、このアメリカ人の歯を、治してくれたのです。彼が何者だかわからないまま、ツアーガイドが勧めてくれたのだと思いますが、この人を歯医者に連れて行ったら夜中に治してくれました。それが、イスラエルの人々のまごころです。しかしマイク、あなたが言ったことはとても重要だと思います。ユダヤ人への憎しみのレベル。子どもや市民の命を軽視するようなムッラーがいて、彼らは、子の命や、人の命を救ってもらうためにイスラエルに行った人を、ユダヤ人への憎しみのために非難します。卑劣を超えていますよ、マイク。そして、それは本当に、イスラム教からクリスチャンに改宗するのと似ています。それに伴う死刑判決があります。でもね、マイク、イスラエルの人たち…私はあなたのように、そこに住んだ事はありませんが…しかし、私が訪問した時、素晴らしい思いやりのある人々、家族に献身的な人々がいました。レバノン人のブリジット・ガブリエルという女性がいて、彼女の家族は、防空壕にいて両親が負傷していたのです。そして、イスラエルの病院に連れて行ったら、家族が受けた治療にショックを受けました。重傷を負っていたのはお母さんだと思えますが、イスラエルの人々は、彼女の世話をし、彼女を愛して、今、彼女はアメリカにいて、イスラエルの強力なサポーターです。その経験があったからこそ、彼女の人生は本当に、劇的に変わりました。それこそが、そのような愛と思いやりへの反応です。自分の破滅に傾倒している人がいて、自国ではできない手術をするために、誰がそこまで行く

でしょう？可能性として、マイクもし、これを壊したいのであれば、成長して、後に敵になる可能性もあるのです。それなのに、イスラエルの人々の目には、命がとても尊いので、彼らは、少なくとも国家的に、彼ら自身の国の破滅にコミットしている人々を救う事を、探求するのです。この手のミステリーは、すごいです。しかしそれは、この特定の人たちに限ったことではありません。ユダヤ人は、大部分において非常に愛にあふれ、親切で素晴らしい人々です。そして、さっきの話をしていて、ゴルダ・メリアの言葉を考えずにはいられませんでした。彼女は言いました。「あなた方が、私たちの子どもを殺すことは許せません。しかし、あなたの子どもを、私たちに殺させることは絶対に許せない。」もちろん、彼女は幼児の子どものことを言っているのではなく、兵士のことを言っています。それがイスラエルの人々の心であり、他者への愛と平和への願いです。そしていつか平和の君は、エルサレムに平和をもたらすでしょう。世界が求めている、とらえどころのない平和を。素晴らしいミニストーリーですね、マイク。

[マイク牧師] ええ。悪魔は遠くないです。友よ、他の人種への憎しみが自分の身内への愛を超えるときは。

[バリー牧師] そうですね。

[マイク牧師] そして、そこは危険な場所です。勘違いしないでください、皆さん。この、いわゆる併合はいいことです。聖書的にはユダヤ人の、あの土地は全部法的に、もう、そこにあるんですよ。展開していくうちに、時間が経つにつれて間違いなく、どこにも行きません。実際、主は私たちが求めたり、考えたりすることをはるかに超えて、彼らを祝福してくださっています。私たちは、国家が嘘と欺瞞と憎しみを生み出そうとするのと同じくらい、イエス・キリストが最終的な言葉を持っておられることを知っています。イエスの言葉は絶対的な権威です。なぜ、粘土が陶芸家に「なぜあなたはこれをしたのか、なぜあれをしたのか」と言うのでしょうか。世の中には、そんなことをしている人がたくさんいます。そして、彼らは実際に欲しいものを手に入れることができるという、誤った信念を持って、不法にしがみついています。そして、彼らは、それを得ます。教会が携挙された後、しばらくの間。その時、イエスが戻って来ます。そして皆さん、あなたは最前列の席で見られるんです。私もです。その日が待ち遠しいです。時間切れです、バリー牧師。話したいことは尽きませんが、来週また来てくださいね。アミールも来るし、それも楽しみです。彼がいなくて寂しかったですね。彼は、リトリートを楽しんでいます。バリー牧師、お祈りで締めくくってください。その後、最後の発表をします。

[バリー牧師] 分かりました。

お父様、改めて情報を教えてくださり、本当に感謝しています。あなたのみことばは生きていて、力があることを感謝します。そして主よ、物事がどのように始まったのか、人生の目的と意味、そして、どのように終わるのかを教えてください感謝します。それゆえに、私たちの贖いが近いので、私たちが見上げるべき時です。主よ、私たちは世界中の混乱した人々のために祈ります。あなたが混乱の神ではなく、平和の神であることを感謝します。理解を超えた平和でさえあります。主よ、私たちは、この終わりの日にあなたの霊が大きく動かれるように祈ります。あなたが、イスラエルに恵みと祈りの霊を注いでくださることを知っているからです。主よ、私たちの敵対者に、あなたの霊を注いでくださいますようにと祈ります。主よ、多くの人々と、イランで人々の間で起こっている、あなたの霊の大きな動きを感謝します。これが世界中に広がることを祈っています。人々が、ユダヤ人の王、真の生ける神、イエシュア・ハ・マシュアハ、主を知りますように。あなたがしてくださっていることに感謝しています。私たちは、あなたが今日もなお、誰も滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに来ることを望んでおられることを感謝します。エルサレムの平和のために祈ります。イスラエルのために祈ります。私たちは、制御不能に陥っている、こんにちの世界について祈ります。そして、主よ、あなたが歴史の中でされて来た通り、引き続き、人々をご自身に引き寄せてください。そして、主よ、今日のこの時間を感謝します。マイクと、彼がまとめてくれた素晴らしいプログラムに感謝します。ビホールド・イスラエルの運営責任者として、彼をどうか祝福し続けてください。リトリートを続けている、アミールにも祝福を。主よ、この時に彼に語りかけてください、私たちは祈ります。イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

[マイク牧師] アーメン、アーメン。ありがとうございます、バリー牧師。

[バリー牧師] いつも光栄だよ、マイク。

[マイク牧師] 締めくくりの前に少しだけお知らせがあります。皆さん、ニュースレター登録をお忘れなく。BeholdIsrael.orgのホームページです。月曜には毎週のディボーションが届きます。皆さんの時間帯によりますが、

木曜日にメルマガを配信しています。また、Twitter、Instagram、Facebook、YouTubeのフォローをお忘れなく。お知らせは以上です。ありがとうございます。お一人お一人の祈りを頼りにしています。私たちのために祈ってくださっている皆さん、私たちは文字通りこの時に、それを感じています。これからも情報力、行動力、忍耐力、発言する勇気を持ち続けられるように、お祈りください。来週まで、これで終了です。マイク・ゴレイでした。皆さん、素敵な一日をお過ごしください。

それでは、さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.07.15 (Wed)